

## 令和元年度 学校運営協議会委員評価

- 1 目的 学校の教育活動を、様々な視点から振り返り、改善を図る資料とする。
- 2 実施日 令和元年12月4日
- 3 対象者 学校運営協議会委員10名(校長を除く)
- 4 評価基準と調査内容等

|               |               |
|---------------|---------------|
| 4→よくあてはまる     | 9割以上の達成状況     |
| 3→ややあてはまる     | 6割以上9割未満の達成状況 |
| 2→あまりあてはまらない  | 3割以上6割未満の達成状況 |
| 1→ほとんどあてはまらない | 3割未満の達成状況     |

5 集計結果(%)

| No. | 調 査 項 目                         | 4  | 3 | 2 | 1 |
|-----|---------------------------------|----|---|---|---|
| 1   | 児童は、落ち着いて学校生活を送っている。            | 8  | 2 | 0 | 0 |
| 2   | 学校は、学習に適した環境を整えている。             | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 3   | 学校は、児童に対して適切に指導している。            | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 4   | 学校は、児童の安全確保に努めている。              | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 5   | 学校は、保護者や地域との連携を図りながら教育活動を進めている。 | 8  | 2 | 0 | 0 |
| 6   | 教職員は、保護者や地域の期待に応えている。           | 8  | 2 | 0 | 0 |
| 7   | 学校は、教育活動の様子を地域に情報提供している。        | 5  | 4 | 1 | 0 |

自由記述欄

- バースデー集会をはじめ、児童の活動や教育状況を以前のようにオープンに見学を案内した方がよいように思います。
- 地域のいろいろな団体で、登下校の安全について必ず話し合い、その中で実践できることを1つでもできるようにしたい。
- 交通安全協会として、12月から、期間を決めて校門の見守り活動を行っています。学校側からは、いつも校長先生が出ていますが、教書員が後退して出ただければ、校長先生の負担減になると思います。